

西洋の二元論



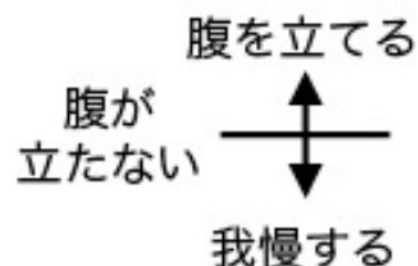
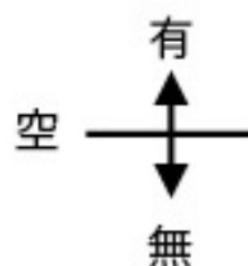
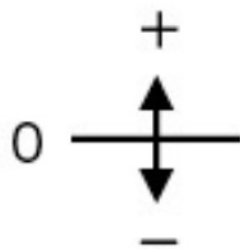
インドのアーユルヴェーダ

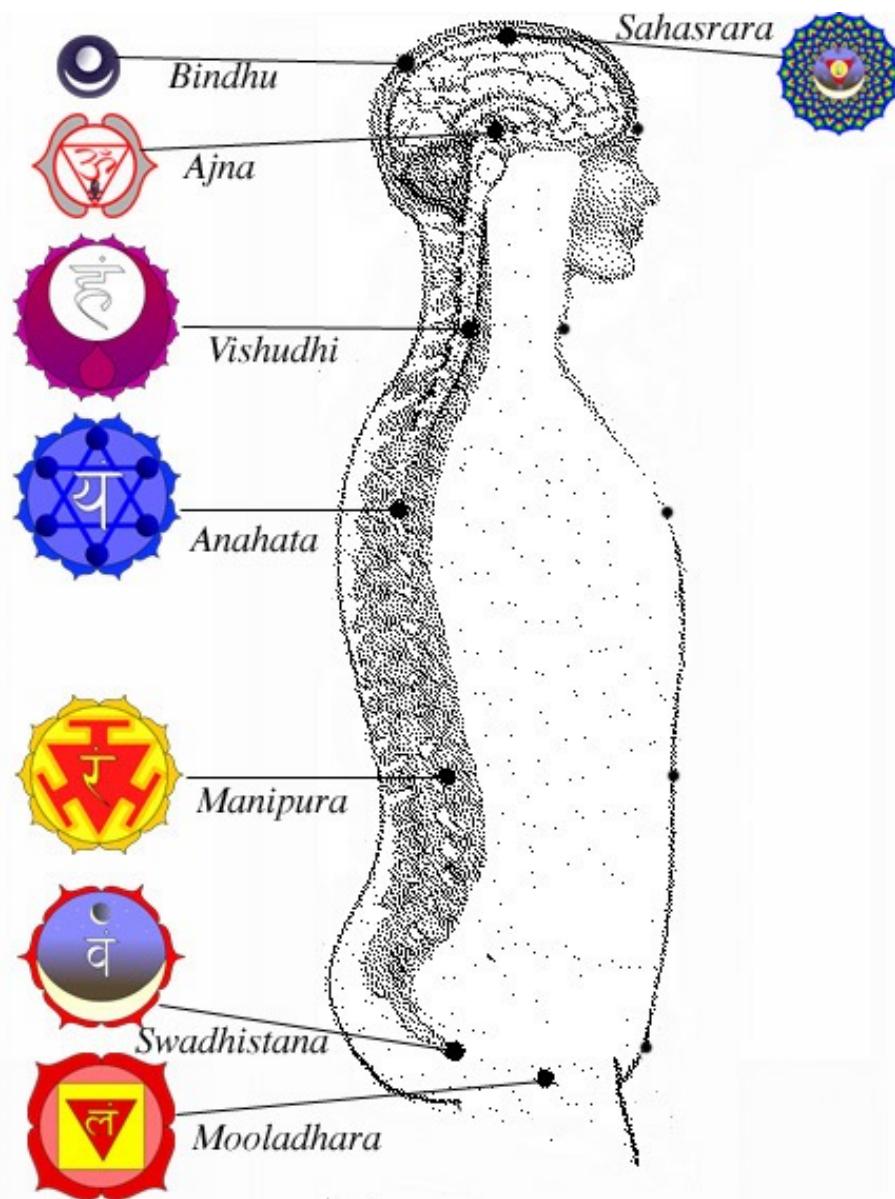


中国の陰陽論



サーンキヤ哲学 (数論：例を数える)





チャクラ	色	音	色と音の効果	こんな時に活用できる
1	赤	ド	元気・情熱	元気がほしいとき、体の不調や疲れたときに。
2	橙	レ	創造・喜び	心を伸びやかにしたいとき、素敵な人に出会いたいとき、恋を叶えたいときに。
3	黄	ミ	自信・豊かさ	自信をつけたいとき、金運を上げたいとき、世界を広げたいときに。
4	緑	ファ	調和・癒し	心が不調和を感じているとき、不眠・イライラを感じたときに。
5	青	ソ	知性・成功	知性を伸ばしたいとき、成功を望むとき。物事を成し遂げたいとき。
6	藍	ラ	能力・運氣	願望を実現したいとき、運氣を上げたいとき、能力を高めたいとき。
7	紫	シ	受容・平穩	精神力を高め心の平穩を得たいとき。精神性を高めたいときに。

7つのスヴァラ：響きと原理

・ SA-ṣaḍaja = Shat 【6】 + Aj 【産む】

残りの6つの音を生み出す第一の音。Saは家、ただ安らぐ場所、アナーハタ・ナーダを具現化したもの。宇宙とはわたしの拡大であり、幻想ではない。

・ RE (RI) — Rṣadh = 【大いなるもの】

明確で安定した響き。いつでも貪欲に知ろうとする好奇心旺盛な知性
有形と無形を調整

・ GA-Gandāra = 【甘い香り】

立体音響。巨大で幅広く、反響、共鳴し、全体に流れるような。聖なるほら貝の音。

・ MA—Mandhyama = 【真ん中】

鼻音。松果体の領域にある最上部に位置し、陽のエネルギーを放ち、心が静まる音でもある。いつでもあなたのためにそこにあると約束してくれる音。

・ PA—Pancham 【第五の音】

最大限に表現される音。まるで体がこの音でいっぱいになるかのような音。
甘美であり崇高。献身にも溢れ、聖なる女性性エネルギーを放つ。

・ DHA—Dhaivat = 【天来の】

強くて男性的な音、明確な意

・ Ni-Niṣād = 【不可思議な、秘宝の】

休息の意。秘境的な電流を引き起こす音。身体の頭部で渦となり、まるでかつての未知なるもの全てで知性を照らすとうとうとする音。

SAからNIの音階に至るまでの音楽の旅路は、自らの靈性をめぐる旅路と同じ。
それは“形あるもの”から“形なきもの”へ。

スピーチの4段階

何か言葉を発すると、まず心で感じています。心の中では、文字や単語の違いはありません。

ただ、意識があるのみ。その次の瞬間に表へ出ようとする力が存在します。

心にある一点、ある一つの原子から喉の中心へ向い、そして舌の真ん中へ。宇宙の振動は4つのレベルから振動を生み出し、様々な表現に呼応します。

Para-様々な世界を組み立てるためにもともと存在していた全ての音の振動が、何の区別もなく存在する場所

Pashyanti-因果世界の音の振動が聞こえるところ

Pashyanti-サンスクリットでスピーチを見る。という意味
因果関係の中心に意識を持った賢者は、本当の真実を視界の中や啓示の中で「垣間見る」ことができる。
理由付けする能力や感覚器官から得たデータを使わずに、マインドの内側から知識が吸収されます。

Madhyama-真ん中の意味をもつ。繊細な世界で受け入れられる音。私たちの世界で私たちのマインドに浮かぶ考え。

Vaikari-一番低音で部外表現を象徴。私たちの喉から発せられる話し言葉。

Sri Aurobindの教えからの抜粋

タントラの世界でのスピーチの4段階

TANTARAはヨーガであり、瞑想であり、ケミカルであり、ARTでもある
主要な練習はTantra（宇宙との合一）



Crystal Sound Lab

スピーチの4段階が全て調和すると、スピーチの鼓動が純粋な振動になり、ヒーリングへと導く表現のツールになります。

この4つに食い違いが生じると、考えを形成する力の線が乱れます。

日常的には、もしも心にもないことを言うと、自分や自分の周りの人々を癒す力の流れが純粋ではなくなってしまうということです。

不調和と分離は、様々な病気や問題がはびこりやすい環境を作ります。

音での癒されるためには、“ヒーラー”と“レシーバー”が意気投合し、誠の自分自身を表現できる間柄にある必要があります。

その調和を構築するのは、一生涯の練習を通じてであり、スピーチのパワーは人生全体の品質、すなわちサティヤの価値に応じて徐々に増えてゆきます。

ヨーガ スートラII.36

言い換えるなら、サティヤを軸に人生を生きれば、
嘘をつくこともなく、あなたが話す言葉は全て事実となる。

自己に至る 十牛図



一. 尋牛



二. 見跡



三. 見牛



四. 得牛



五. 牧牛



六. 騎牛歸家



七. 忘牛存人



八. 人牛俱忘



九. 返本還源



十. 入てん垂手



Crystal Sound Lab



Crystal Sound Lab



Crystal Sound Lab



Crystal Sound Lab



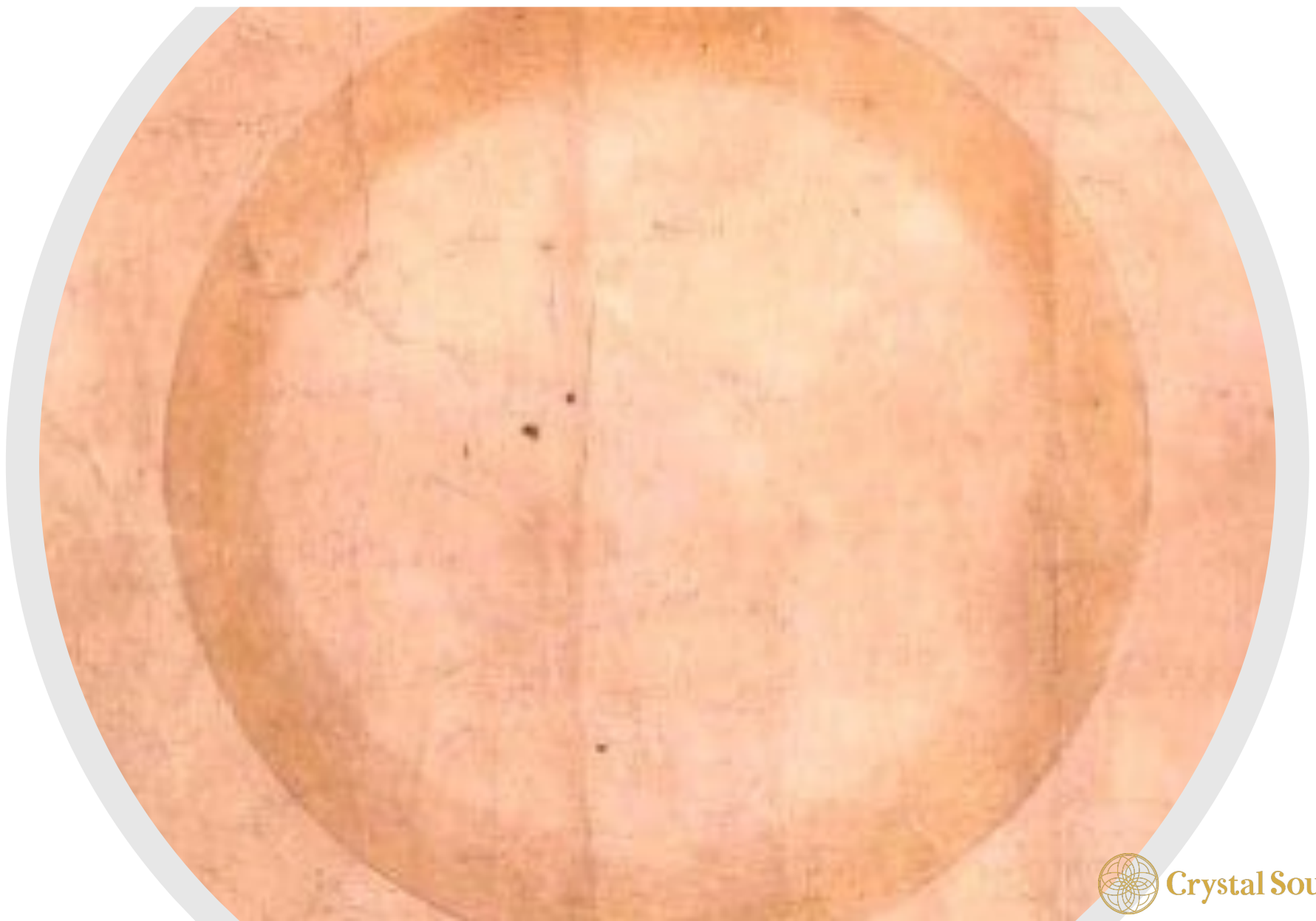
Crystal Sound Lab



Crystal Sound Lab



Crystal Sound Lab



Crystal Sound Lab



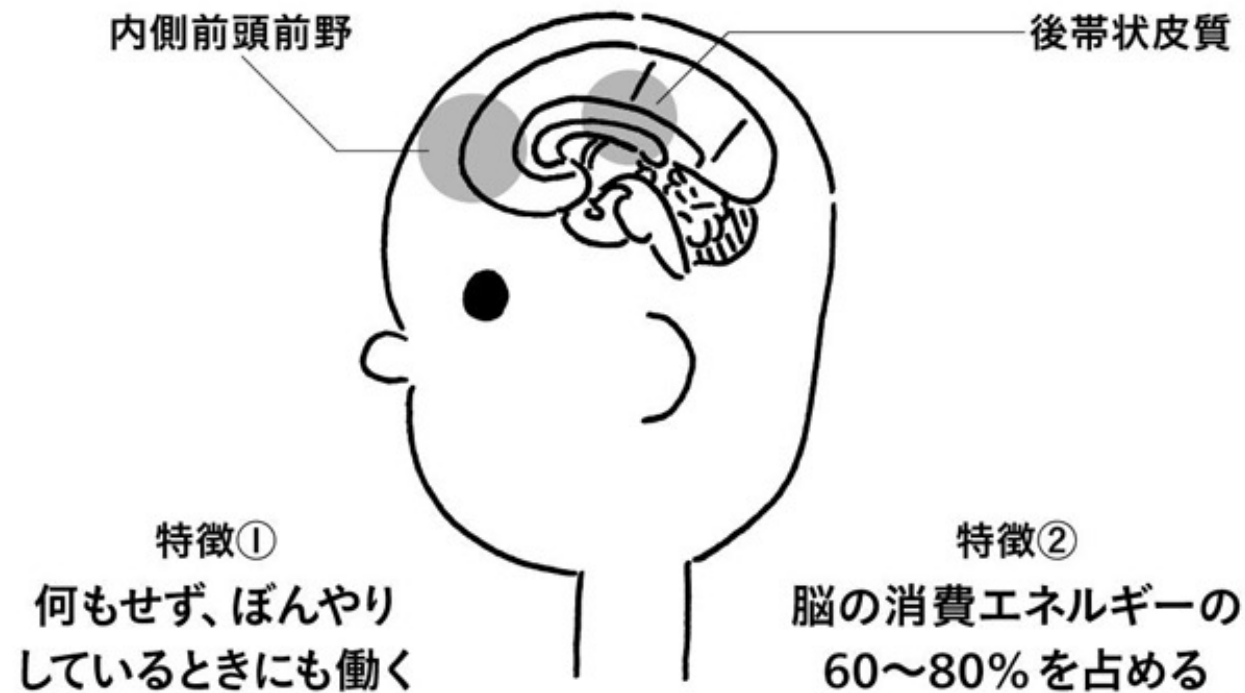
Crystal Sound Lab



Crystal Sound Lab

デフォルト・モード・ネットワーク(DMN)とは？

内側前頭前野、後帯状皮質、楔前部、下頭頂小葉
などから構成される脳の回路



集中力に関わる脳の部位と瞑想の効果

凡例
● 活性化
● 抑制

前頭前野

注意力をどこに向けるかに関わる

瞑想の効果

自分の意志で、最も重要なことに集中できるようになる

前帯状皮質

注意力の制御に関わる

瞑想の効果

注意を維持し、それとも戻せるようになる

島皮質

感情や感覚を客観的に認識する

瞑想の効果

自分の体に何が起きているか、素早く察知できるようになる

扁桃体

情動をつかさどる

瞑想の効果

衝動に支配されにくくなる

